



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年11月9日

東

上場会社名 サイオス株式会社 上場取引所
 コード番号 3744 URL <https://www.sios.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 伸夫
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 小林 徳太郎 (TEL) 03-6401-5111
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	11,701	9.5	△194	—	△139	—	△186	—
2022年12月期第3四半期	10,686	△8.7	△468	—	△419	—	△566	—

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 △122百万円(—%) 2022年12月期第3四半期 △435百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	△21.49	—
2022年12月期第3四半期	△65.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	6,118	1,049	15.7
2022年12月期	6,022	1,243	19.4

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 958百万円 2022年12月期 1,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 2023年12月期の配当予想額は未定であります。

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2023年12月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的に算定することが極めて困難であることから、未定としております。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 3 Q	8,874,400株	2022年12月期	8,874,400株
② 期末自己株式数	2023年12月期 3 Q	205,838株	2022年12月期	205,838株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 3 Q	8,668,562株	2022年12月期 3 Q	8,668,562株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 本資料に記載されるサービス・商品名等は、当社または各社等の登録商標または商標です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<当第3四半期連結累計期間の概況>

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が緩和されつつあるものの、地政学的リスクの高まりによる原材料価格の高騰、世界的な金融引き締めによる為替相場の変動等により、世界経済は依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況において当社グループは、事業構造改革による収益基盤の改善を進めつつ、SaaS(*1)をはじめとするクラウド関連製品・サービスを拡大させ、顧客のDX(*2)に資する最適なソリューションを提供してまいります。

当第3四半期連結累計期間の各セグメントの業績は、次の通りとなりました。

① オープンシステム基盤事業

半導体不足の解消に伴い、ハードウェアの需給が緩和し、オンプレミス向けの製品・サービスが復調傾向となりました。この結果、Red Hat Enterprise Linux(*3)をはじめとするRed Hat, Inc. 関連商品(*4)は順調な増収となりました。また、主力自社製品である「LifeKeeper」(*5)はオンプレミス向けの復調に加え、クラウド向けも伸ばしたことから堅調な増収となりました。これらにより、売上高は7,165百万円（前年同期比12.0%増）、セグメント利益は62百万円（前年同期は20百万円の損失）となりました。

② アプリケーション事業

金融機関向け経営支援システム販売は減収となりました。一方、システム開発・構築支援はAPI(*6)関連や証券系業務システムの案件が増加したことにより好調な増収となりました。また、「Gluegentシリーズ」(*7)も順調な増収となりました。これらにより、売上高は4,526百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

利益面では、増収により前年同期比で改善したものの、人件費の増加、Med Tech(*8)事業を中心に新製品・サービスへの投資を強化したことにより、セグメント損失は266百万円（前年同期は455百万円の損失）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は11,701百万円（前年同期比9.5%増）、営業損失は194百万円（前年同期は468百万円の損失）、持分法による投資利益の計上等により経常損失は139百万円（前年同期は419百万円の損失）となりました。また、減損損失及び事業譲渡損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は186百万円（前年同期は566百万円の損失）となりました。

当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）とROIC（年率換算数値、税引後営業利益÷（株主資本＋有利子負債））は、次の通りとなりました。

EBITDA：△147百万円（前年同期は△383百万円）

ROIC（年率換算数値）：△14.0%（前年同期は△26.1%）

(*1) SaaS

Software as a Serviceの略。ソフトウェアをクラウドサービスとして提供すること。

(*2) DX

デジタルトランスフォーメーションの略。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

(*3) Red Hat Enterprise Linux

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc. が開発するLinux OS。

(*4) Red Hat, Inc. 関連商品

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc. が開発するオープンソースの製品。

(*5) LifeKeeper

本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。

(*6) API

ソフトウェアやアプリケーション同士が互いに情報をやり取りするための仕組み。

(*7) Gluegentシリーズ

IDの管理をクラウドで行うサービス「Gluegent Gate」をはじめ、クラウド型ワークフローの「Gluegent Flow」、Google Calendarにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Appsグループスケジューラ」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。

(*8) Med Tech

Medical（医療）とTechnology（技術）を組み合わせた造語。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、現金及び預金の増加220百万円等の要因により、5,215百万円（前連結会計年度末比0.4%増）となりました。

固定資産は、投資有価証券の増加35百万円等の要因により、902百万円（同9.2%増）となりました。

この結果、総資産は、6,118百万円（同1.6%増）となりました。

②負債

流動負債は、契約負債の増加223百万円等の要因により、4,672百万円（前連結会計年度末比7.7%増）となりました。

固定負債は、長期借入金の減少49百万円等の要因により、395百万円（同10.3%減）となりました。

この結果、負債合計は、5,068百万円（同6.1%増）となりました。

③純資産

純資産合計は、利益剰余金の減少272百万円等の要因により、1,049百万円（前連結会計年度末比15.6%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2023年2月2日に公表した「2022年12月期 決算短信」に記載の通り、事業構造改革の実施及びクラウド関連事業の拡大により、収益基盤の改善を進めております。

当第3四半期連結累計期間においては、当社グループ内の人材配置の最適化及び事業の選択と集中を実施しました。引き続き事業構造改革を実行中であるため、2023年12月期通期業績予想については合理的に算定することが困難であり、非開示としております。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,505,766	2,726,679
受取手形、売掛金及び契約資産	2,028,395	1,929,861
商品	13,558	2,830
仕掛品	13,267	3,512
前渡金	272,047	362,429
その他	362,291	190,601
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	5,195,125	5,215,715
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	50,131	42,267
その他（純額）	62,699	102,347
有形固定資産合計	112,830	144,615
無形固定資産		
ソフトウェア	48,496	38,700
ソフトウェア仮勘定	29,879	10,107
その他	1,441	1,441
無形固定資産合計	79,817	50,249
投資その他の資産		
投資有価証券	380,634	416,160
退職給付に係る資産	50,635	56,072
差入保証金	127,063	122,324
その他	76,225	113,491
投資その他の資産合計	634,558	708,049
固定資産合計	827,206	902,913
資産合計	6,022,332	6,118,629

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,084,110	937,086
1年内返済予定の長期借入金	66,000	66,000
リース債務	29,700	67,526
未払法人税等	—	11,742
契約負債	2,760,665	2,983,981
その他	396,729	606,594
流動負債合計	4,337,206	4,672,930
固定負債		
長期借入金	115,500	66,000
退職給付に係る負債	302,712	309,229
リース債務	11,746	7,888
長期預り金	11,632	11,632
その他	—	1,159
固定負債合計	441,591	395,910
負債合計	4,778,798	5,068,840
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
利益剰余金	△130,975	△403,909
自己株式	△87,254	△87,254
株主資本合計	1,263,289	990,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,147	18,575
為替換算調整勘定	△100,273	△50,052
その他の包括利益累計額合計	△95,125	△31,476
新株予約権	75,369	90,908
純資産合計	1,243,534	1,049,788
負債純資産合計	6,022,332	6,118,629

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	10,686,284	11,701,456
売上原価	7,285,377	7,788,206
売上総利益	3,400,907	3,913,250
販売費及び一般管理費	3,869,156	4,107,411
営業損失(△)	△468,249	△194,161
営業外収益		
受取利息	4,231	10,301
デリバティブ評価益	135,244	56,898
持分法による投資利益	40,415	43,025
その他	9,550	5,915
営業外収益合計	189,441	116,141
営業外費用		
支払利息	1,235	747
投資事業組合運用損	4,450	5,601
為替差損	135,444	53,161
その他	—	1,639
営業外費用合計	141,130	61,149
経常損失(△)	△419,939	△139,170
特別利益		
固定資産売却益	—	90
特別利益合計	—	90
特別損失		
関係会社株式評価損	—	10,435
減損損失	29,909	30,201
固定資産除却損	2,409	123
事業譲渡損失	—	27,933
特別損失合計	32,319	68,693
税金等調整前四半期純損失(△)	△452,258	△207,773
法人税、住民税及び事業税	36,381	15,741
法人税等調整額	77,489	△37,266
法人税等合計	113,870	△21,525
四半期純損失(△)	△566,128	△186,247
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△566,128	△186,247

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△566,128	△186,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,564	13,428
繰延ヘッジ損益	52	—
為替換算調整勘定	125,147	48,498
持分法適用会社に対する持分相当額	510	1,722
その他の包括利益合計	130,276	63,649
四半期包括利益	△435,852	△122,598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△435,852	△122,598

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,395,070	4,282,653	10,677,723	8,561	10,686,284
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,342	5,342	△5,342	—
計	6,395,070	4,287,995	10,683,065	3,219	10,686,284
セグメント損失(△)	△20,999	△455,811	△476,810	8,561	△468,249

(注) セグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者には有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
10,112,955	380,692	125,305	67,331	10,686,284

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「アプリケーション事業」セグメントにおいて29,909千円の固定資産の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,165,126	4,526,880	11,692,006	9,450	11,701,456
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	4,359	4,359	△4,359	—
計	7,165,126	4,531,239	11,696,365	5,090	11,701,456
セグメント利益又は損失 (△)	62,471	△266,082	△203,611	9,450	△194,161

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
11,079,313	413,590	133,142	75,410	11,701,456

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「アプリケーション事業」セグメントにおいて30,201千円の固定資産の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。